



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：チェイニー米副大統領の訪問

(2月25日付各種報道)

2月25日に行われたチェイニー米副大統領のオマーン訪問に関する報道。同副大統領のオマーン訪問は、2005年12月以来3回目となる。尚、「シャビーバ」紙を除く他の現地紙は、今回の同副大統領の訪問について一切報じていない。

1. シャビーバ紙（オマーン、2月25日付）

- (1) 2月25日、チェイニー米副大統領はオマーンを訪問し、当国要人と会談する。イラク問題及びイラン核問題などの地域問題について集中討議が行われる見込みである。
- (2) 同副大統領はイラク問題、マッカ合意をめぐるパレスチナに於ける和平努力に加え、オマーンのイラン核問題についての見方を聴取することになる。
- (3) 本訪問にあわせ、当局は25日午前10時から26日正午まで、マスカット市内スルターン・カブース通りでの路上駐停車を禁止する旨発表した。

2. ワシントン・ポスト紙（米国、2月25日付 電子版）

- (1) オマーン政府当局者によると、2月25日チェイニー副大統領はオマーンに到着し、アラウィ外務担当相との会談に向かった。
- (2) 同副大統領の訪問について、在オマーン米国大使館広報官はコメントを拒否した。一方、オマーン政府当局者は、米・イラン関係の行き詰まりを含む地域の安全保障問題を討議する為と述べた。別のオマーン外務省関係者は、アラウィ外務担当相がパレスチナ・イスラエル和平プロセスの再生について米国の支持を迫ったと述べた。
- (3) 同副大統領のオマーン立ち寄りには、イランの核プログラムをめぐって制裁強化を討議する国連安保理会合に先立ち、イランに対する軍事的圧力を徐々に高める試みと見られている。